

都市システム工学科

都市システム工学科は英語で“Department of Civil Engineering”といいます。これは「市民のための工学」という意味で、私たちが生活をしていく上で欠かせない、いろいろな施設をつくるのが仕事です。道路、鉄道、橋、河川、砂防、港湾施設、空港施設、トンネル、ダム、宅地造成、エネルギー施設、上下水道、廃棄物処理施設などの計画・設計・施工維持管理の分野を担当します。家族や友人とのふれあいの場を提供する公園や広場、大分自動車道をはじめとする高速道路や新幹線、そして明石海峡大橋、横浜ベイブリッジ、大分スポーツ公園、田の浦人工海浜の建設など、各種の事業が展開されています。

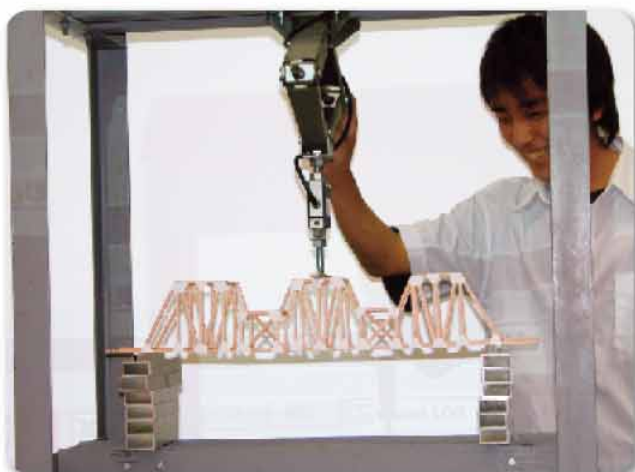
都市システム工学科では、「地域社会への貢献」と「地球環境のよりよき創造」をめざし、郷土の開発に従事する技術者及び広く国内・海外でも活躍できる有能な技術者を育てることを目標としています。



田の浦人工海浜(大分市)



白水ダム(竹田市)



ブリッジコンテスト(1年生)



水質を調べています(4年生)

■ 卒業生は、次の資格が取得可能です。

- (1) 測量士補
- (2) 土地家屋調査士の試験科目の一部免除
- (3) 火薬類取締保安責任者の試験科目の一部免除

■ 卒業生は、下記の受験資格が与えられます。

- (1) 土木施工管理技士
- (2) 造園施工管理技士